



問 図書館は「学びの館」！
本の持つ魅力を市民の皆さんに

本には魅力、影響力、集客、そして人生を豊かにするような、また、それぞれのリクエストに応じる力があると考えます。全国の特色ある図書館として、漫画図書館をはじめ、お茶を飲みながら本を読む、おしゃべりしながら本を読む、高齢者の見守りを兼ねた宅配図書館、さらには個人コーナーを設置し、本と人をつなぐ役割を持つ図書館がある。このような新しい図書館についての考えは。

答 民間の取り組みなども参考にし、
新しい図書館づくりに取り組む

新しい図書館については、令和4年度から各図書館で特色ある蔵書構成とするための重点収集に取り組んでいる。また、ハンドベルやオーボエの演奏会を企画したほか、英語に特化したお話し会や大人のための読み語り会も開催している。

今後は、図書館のウェブサイトや公式SNSなどを活用した情報発信のほか、お薦めの本を持ち寄り、交換や貸し出しをする民間の取組「まちライブラリー」やウェブサイトを活用してカフェや待合室などの本をデータベース化して図書館のように利用する「リブライズ」などの事例を参考にしながら、新しい図書館づくりに取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 新たな地域福祉活動の仕組みについて、地区社協や地域福祉活動団体への支援はどうなるのか
- 学校と地域でつくる学びの未来について
- 旧学校施設の有効活用について、少子化で生まれた廃校を高齢化に生かす考えはどうか
- 再生可能エネルギー発電設備の廃棄・リサイクルに係る現状と課題はどうなっているのか など

個別学習室やグループ学習室、ブラウジングコーナーや休憩室があればいいのに



亀山市立図書館のブラウジングコーナー



問 持続可能な自治会について問う

津市に住む市民は、自治会へ加入しなければならないのか。

また、高齢化や加入率の低下等により、自治会の組織力が弱まっているように感じるが、自治会の負担軽減のため、スマートフォンのアプリを利用した自治会の業務に関するDX化の支援等についての考えは。

答 自治会の負担軽減に向けた支援
を行っていく

自治会への加入は任意で、強制ではないが、人口減少や高齢化が進む中でその果たす役割は今後ますます重要になってくることから、加入促進は大切と考えている。また、地域課題が多様化する中でデジタル技術を活用し、自治会の業務を見直すことは、迅速な情報伝達や利便性向上だけでなく、被災時の安否確認などにも活用でき、メリットは大きいと認識しているが、電子機器に対する抵抗感や個人情報流出への懸念などの意見も頂いている。今後も先進事例の研究を行い、自治会に対して情報提供などの支援を行うとともに、個別に相談があれば情報提供や助言を行っていく。

その他の質疑・質問

- 孤独・孤立対策について津市の考えは
- 自宅での避難生活者は、支援物資を受け取ることができるか
- 民生委員の選出方法の今後の考え方は
- 千歳山荘の復元について、協議したことがあるか
- ボートレース津のパーク化について

紙媒体の回覧板を電子化してはどうか

